

「世界てんかんの日2018」記念イベント 2会場で実施しました。

- ◇ 日時：2月12日(月・祝) 午後2時～午後4時
- ◇ 会場：ホテルメルパルク東京(港区)

国際てんかん協会(IBE)と国際抗てんかん連盟(ILAE)が2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日(IED)」(今年は、2月12日)を記念し、日本でも3年目となる記念のイベントをホテルメルパルク東京(5F)「瑞雲」で実施しました(参加者：約100名)。

この事業は、当協会と日本てんかん学会の共催で企画・実施し、てんかん治療研究振興財団、

全国てんかんセンター協議会が後援する、国内のてんかん関連全国組織すべてが関与する事業です。また、今年は、(株)日本電波塔の理解を得て、東京タワー(2F)イベントスペースで、サテライトイベント「てんかん啓発展示」を行い、多くの東京タワー来場者が立ち寄ってくれました。

※「世界てんかんの日」は、一般社団法人日本記念日協会に公式記念日として登録されています。

イベントの内容(敬称略)

- 開会あいさつ 「世界てんかんの日」
加藤 天美(一般社団法人日本てんかん学会 理事・広報委員長)
- ミニレクチャー「てんかんを取り巻く世界のうごき」「てんかんってな～に」
池田 昭夫(一般社団法人日本てんかん学会 理事長)
- 来賓あいさつ(行政報告)
「日本におけるてんかん施策」
森 信二(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課心の健康支援室室長)
- てんかんのある人たちからのメッセージ
「てんかんとともに生きる」
藤野 遼(パラバドミントン選手)
ジェイ・ボスロイド(Jリーグ・コンサドーレ札幌FW)



宮崎 知博(医師)

- 記念ステージ(パフォーマンス)
「てんかんのある人と家族の応援歌」
熊本 亜記(アーティスト/元劇団四季女優)



- 閉会あいさつ・アピール「てんかん宣言」
梅本 里美(公益社団法人日本てんかん協会 会長)

当日は、当事者3人からのメッセージと熊本亜記さんの迫力ある歌声が感動を呼ぶとともに、てんかんに対する新しいイメージを伝えることができました。また、この事業を後援している厚生労働省からは、初めて加藤勝信厚生労働大臣から祝辞を受け、今後さらなる発展が期待できるイベントでした。

この他に、てんかん対策推進プロジェクトチー

ムの山本博司代表、横山信一事務局長（ともに参議院議員）に臨席を、そして松本純、青柳陽一郎両衆議院議員を始め多くの皆さまから祝電をいただきました。皆さまにこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

★当日の様子はインターネットLIVE配信をし、アーカイブとして現在もアップロードしていますので、是非ご覧ください。 <http://100stylesof.life/>



東京タワー・サテライト企画

東京タワー・フットタウン（2F）イベントスペースにて、同日10時～16時まで啓発活動を行いました。マスコットキャラクターあかりちゃんや顔出しパネルでの記念撮影、てんかんに関するパネル展示、資料提供、記念品（缶バッジ・風船など）を配りました。



ミニアート展 (てんかんをテーマにした作品展)

日本てんかん学会では、一昨年の学術集会50周年を記念して、てんかんをめぐるアート展（作品展）を開催し始めました。今回は、第50回学術集会（静岡）と第51回学術集会（京都）で入選した作品をロビーに展示しました。



記念缶バッジを作成し、参加者に配布しました。

国際ロゴマークとキャラクター「キャンピー」をあしらった2種類です。来年も参加者に配布する予定です（来年度は2019年2月11日が記念日です）。



国際ロゴマーク



キャンピー